

(お知らせ)

令和4年10月21日
防 衛 省

米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄
県外への訓練移転）に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る訓練移転（回転翼機及びティルト・ローター機等の沖縄県外への訓練移転）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回の訓練移転は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づき、沖縄県外での訓練の一層の推進を図り、訓練活動に伴う沖縄の負担を軽減するため、現在普天間飛行場に所在するティルト・ローター機等の訓練活動を沖縄県外に移転し、令和4年度日米共同統合演習（実動演習）（Keen Sword23）において、組み込んで実施するものであり、今回で訓練移転は17回目（国内16回、グアム等1回）となります。

- 訓練期間：令和4年11月10日（木）～11月19日（土）
- 参加部隊：〔米軍〕
第1海兵航空団第36海兵航空群（普天間）、第3海兵師団第4海兵連隊
基幹（キャンプハンセン）等
〔自衛隊〕
陸上自衛隊：水陸機動団、西部方面隊 等
- 訓練場所：陸上自衛隊相浦駐屯地、奄美駐屯地、津多羅島及び徳之島
- 訓練項目：空中機動 等
- 参加規模：〔米軍〕
MV-22×3機程度
〔自衛隊〕
V-22×2機程度、CH-47×2機程度

※1 陸上自衛隊高遊原分屯基地はMV-22の本訓練の機体整備等のために使用する予定です。

※2 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上